

陳情書

医学界の諸学会の飽くなき真理探求により、我が国の医学・医療はめざましい発展を遂げています。さらに世界に冠たる医療保険制度に支えられた医療は、世界一の長寿国を実現しました。一方国民の長寿・健康志向は著しいものがあり、健康器具や健康補助薬などの健康産業の盛業をもたらし、また急速な普及を遂げたインターネットの影響もあり、健康・長寿に関する情報収集が旺盛になり、民間医療はもとより医学界レベルの医学専門分野の情報にまで興味を抱くことが日常茶飯事のものとして定着しつつあります。

2010年9月、日本脂質栄養学会が「長寿のためのコレステロールガイドライン2010」を発表して以来、脂質栄養に関する学会間の論争は日本医師会をも巻き込んで展開され、2012年には日本動脈硬化学会は新たな治療指針を強行刊行してしまいました。

医学分野での学会とは庶民の健康を守るために真理を探求することを目的に掲げて、人間としての常識に裏付けられた行動をする団体である、と理解しております。ところが、両学会の一連の行動を分析してみると、「隠ぺい」「捏造」「改竄」「偽装」等学問上の真理探究には許されない行動が指摘されています。こうなると、庶民は自らの健康長寿のために何を信じたら良いのか迷ってしまいます。

以下、三つ窓口に提出するために、それぞれの文章を用意しました。

1. 窓口：厚生労働省

隠ぺい、捏造、改竄、偽装を指摘されたのであれば、真理探究をする学会としては直ちに対応すべきところであるが、このまま放置される可能性が大であることが予想されます。

つきましては、国民に信じられる正しい情報を提供し、国民の健康を守るためにも行政として早急に対応されんことをお願い申し上げます。

2. 窓口：文部科学省

民衆の健康・長寿を考えて常に正しい情報を提供しなければならない学者が、是正すべき項目を指摘されながら、これを黙殺して出版という行動を起こしたことは、民衆の健康・長寿願望に逆行する行為で断じて許されません。このような風潮が放置されると、将来の論文捏造や改竄の温床を生み出す可能性も否定できません。

つきましては、初等教育の場からも、上記行動を例に挙げて、人身を惑わす卑怯な行為として避けるべきであることを周知徹底して教育されんことをお願い申し上げます。

3. 窓口：財務省

「隠ぺい」「改竄」「捏造」「偽装」により作成されたガイドラインによって生じた無駄な医療費は、無駄な医療により生じた二次疾病に対処するための更なる無駄な医療費を生み出すこととなります。まさにかけて行政刷新会議により行われた事業仕分けの対象として取り上げられるべき案件です。

ここに「無駄な医療費」の詳細を調査し、その全貌を国民に提示されることをお願い申し上げます。